

“ゆっくりかいどう”のみどころ

宿場町／城下町

大里宿



海峡に臨む豊かな歴史の地

大里宿は、関門海峡を挟んだ本州への渡海地として利用された宿場でした。かつて源氏から追われてきた平家一門が、この地に安徳天皇の御所を設けたことから地名がついたと伝えられます。



宿場を紹介した案内板や石碑がかつての宿場の様子を伺える。

昔の面影が残る街道の散策を楽しめる。



小倉城下



雅な文化に心おどる城下町

古くは豊前小倉藩の城下町である小倉。長崎街道をはじめ、九州諸街道の起点であり、人や物、情報が行き交う大きな宿場町でもありました。街角では今でも、今昔の賑やかな文化が出迎えます。



参勤交代往還路が通る百貨店の入口歩道に表示された碑。

伝統的な生活文化を味わえる施設となった小倉城庭園。



黒崎宿



賑わい残る筑前六宿の玄関

かつて黒崎は宿場町として陸・海路の要衝であり、九州西半の諸大名や多くの旅人が利用しました。当時の賑わいを示すように、町の随所に由緒ある寺社や、趣漂う史跡を見ることができます。



町の中には歴史にちなんだ様々な見どころが隠れている。

商店街では長崎街道に関連した催事が頻繁に行われる。



木屋瀬宿



歴史への追体験ができる町

木屋瀬宿は、江戸時代に筑前六宿とよばれた宿場町の一つです。問屋場跡や群屋跡、所々に残る「矢止め」と呼ばれるのこぎり型の家並みなど、今も当時の面影を偲ぶ建物が数多く残っています。



代表的な宿場建築の放送作家「伊馬春部」生家。一般公開されている。

神社や寺院が地域の祭りの舞台として今なお根付く。



宿場間の史跡・旧跡



① 西生寺

細川忠利のお茶屋敷浜御殿があったところで、当時の茶の湯の井戸が境内に残る。



② 黒崎城址

城山の山頂付近には、筑前国六端城の一つであった黒崎城の址が今も残る。



③ 三條の国境石

福岡藩が天保5年に建てた高さ3mを超える同藩最大規模の国境石。

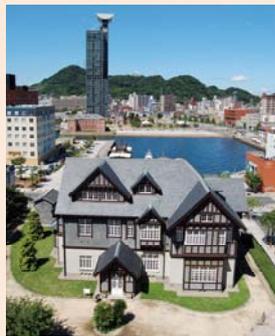


④ 立場茶屋銀杏屋

かつては参勤交代の諸大名などの休憩場所に利用されていた。名は庭の大銀杏に由来。

近代化産業遺産

門司港レトロ／大里



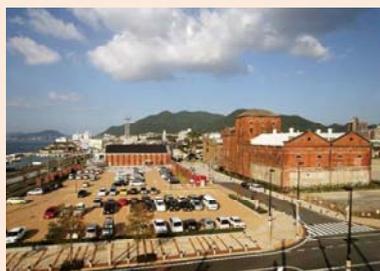
門司港は明治時代から国際貿易港として栄えました。そのため、町には瀟洒な洋館が立ち並び、異国情緒あふれる町並みが誕生しました。古い町並みと新しい都市機能が融合した人気の観光スポットです。



ネオルネサンス様式の青銅屋根をもつJR門司港駅舎。(改修前)

異国情緒あふれる町並み

毎月、第一船溜まりを中心にライトアップ。華麗な照明が街を美しく彩る。



日本有数の赤煉瓦建築群

大正期に神戸の総合商社である鈴木商店が国内最大の拠点として、この地に一大工場・倉庫群を築き上げました。貴重な煉瓦建物は保存活用され、博物館やレストラン等の複合施設にも利用されています。



海岸線を守る国道沿いに赤煉瓦建築が並ぶ。

昔と変わった海岸線は新たに整備され、海を臨む憩いの場となっている。



東田



官営八幡製鐵所発祥の地

かつて「鉄の町」と言われた北九州ならではの、製鐵・石炭に関する様々な近代化産業遺産を見ることができます。製鐵所遊休地の再開発によりテーマパークや博物館など新たな観光スポットも誕生しました。

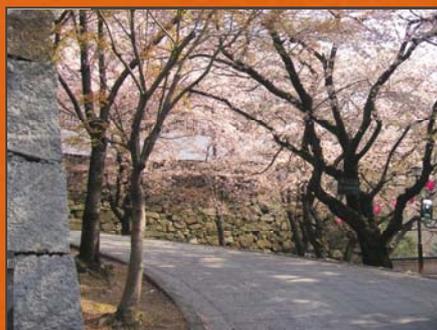


近代化産業遺産が数多く残る道筋。

宇宙をテーマにした「スペースワールド」。周辺の工場夜景も人気。



自然／風景



小倉城の桜

約 300 本の桜があり、花見時には天守閣から眼下に広がる桜と小倉の街並みが楽しめる。



黒崎一夜城

黒崎城の築城 400 年を祝って、地域の人たちがパネル板を組み合わせて復元した。



関門橋

源平の合戦や巖流島の決闘で有名な歴史ロマンあふれる美しい海峡。



皿倉山の夜景

山頂から北九州市が一望でき、夜には「100 億ドルの夜景」が眼下に広がる。



関門海峡の夕陽

「日本一、夕陽の美しい海峡」との呼び声高い、鮮やかな眺望。